ご寄付ありがとうございました

奉仕銀行に寄せられた寄付のお礼

本会がお預かりした寄付金は、寄付者のご希望に基づき、本会事業の推進等に大切に使わせていただきます。

寄付者（令和２年７月～令和２年11月）（順不同）

東　区	田実 啓子 様	中央区	松井 久美子 様	城南区	大津 省一 様
	株式会社あおやぎ なでしこ会館 様		八尋 弘人 様		特定非営利活動法人 いるか福祉会 様
	池田 典子 様		わかちあい 様		仲道 よし子 様
	喜多 脩 様		田中 伸治 様		三島 治子 様
	株式会社マルジュン 様 ※		赤坂二丁目１区自治会 様		七隈校区社会福祉協議会 様
博多区	櫻場 敏子 様		新居 光代 様	早良区	福岡県理容生活衛生同業組合 早良支部 様
	御供所社会福祉協議会 様		生命保険協会福岡協会 様		脇山校区社会福祉協議会 様
	月隈校区自治協議会 様		株式会社 九州ビジネスフロント 様		株式会社あおやぎ 楠会館 様
中央区	船津 正明 様	南　区	亀田 フミ子 様		原西校区社会福祉協議会 様
	株式会社 QTnet 様 ※		東花畑校区社会福祉協議会 様		田村校区社会福祉協議会 様
	赤坂稲荷神社 様		Y.U. 様		樋口 昭雄 様
	河村 笑子 様		萩原 陽子 様		早良区第12地区民生委員児童委員協議会 様
	安仲 房子 様		株式会社 九電工 様	西　区	村岡 喜美子 様
	椛嶋 妙子 様	城南区	長尾校区社会福祉協議会 様		緑 様
	三菱電機株式会社 九州支社 様		大津 信子 様	その他	溝口 秀次 様

（このほか、匿名等で多くのご寄付をいただきました。）※「寄付つき商品事業」覚書締結企業様

「新型コロナウイルス対策緊急支援募金」のご報告

令和２年７月から募集を開始いたしました「緊急支援募金」に対し、企業や団体、個人の皆さまから、61件（1,510,900円）のご寄付を頂戴いたしました。（11月30日現在）

ご協力いただいた募金は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い発生した社会課題を解決するために活用させていただきます。

ご寄贈ありがとうございました

福祉巡回車



生命保険協会福岡協会様から、福祉巡回車をご寄贈いただきました。より一層地域の現場に出向き、様々な課題やニーズを把握し、解決に向けた取組みを推進していくために活用させていただきます。

フェイスガード



三菱電機株式会社九州支社様から、フェイスガードをご寄贈いただきました。窓口業務や日常生活自立支援事業等のサービス時に活用させていただいております。

安心情報キット



株式会社九電工様から、安心情報キットをご寄贈いただきました。今後、市内のひとり暮らし高齢者や障がいのある方など配付を希望される方にお配りしていきます。

真空精米



人材派遣事業等を実施されている株式会社九州ビジネスフロント様から、市内の子ども食堂へ真空精米をご寄贈いただきました。

赤い羽根共同募金会からのお礼

共同募金運動につきましては、令和２年度も多くの募金をいただきました。お寄せいただいた募金は、配分審査委員による現地調査や配分審査委員会を経て、令和３年度に、福岡市内 146 校区社会福祉協議会や福岡市社協の活動費、福祉施設・団体の事業費として、大切に活用させていただきます。

※募金の使い道は、インターネットで公開しています。（「赤い羽根ありがとうマップ」で検索してください。）

令和３年度奉仕銀行寄付金の助成先を募集します

福岡市と福岡市社会福祉協議会に寄せられた寄付金を財源とした助成事業を行います。

1 助成対象団体

福岡市内に活動拠点を有する社会福祉分野に携わる当事者団体等で下記の要件をすべて満たす団体等

①活動実績が１年以上ある。
②法人格を持たない団体等又は特定非営利活動法人である。
③団体の構成員及び利用者の３分の２以上が福岡都市圏の居住者である。
④平成30年度～令和２年度に奉仕銀行の配分を受けていない。
⑤令和元年度・２年度に共同募金会の配分を受けていない、もしくは令和３年度に受ける予定がない。

2 助 成 額　（1）備品購入費 25万円　（2）新規事業費 5万円

3 申込方法　所定の様式に必要書類を添付の上、ご提出ください。

4 募集期間　令和３年３月15日（月）～５月14日（金）

上記以外にも様々な条件があります。まずはお問合せください。

【お問合せ】総務課総務係 TEL：751-1121

ご利用ください　本紙「ふくしのまち福岡」は、本会ホームページ（http://www.fukuoka-shakyo.or.jp/）で公開しています。また、朗読CDも配布しております。お気軽にお問合せください。

この広報紙は共同募金配分金を主な財源として作成しております。

社協だより
2021年・冬号
NO. 123

ふくしのまち福岡

各区社協で発行していた広報紙は令和２年度から「ふくしのまち福岡」に統合しました



「はなれても つながる」から「ちいさく あつまる」へ

～コロナ禍でも活動を止めない～

コロナ禍において、高齢者等の外出が減ることでの筋力低下やうつ、孤立死等が不安視される中、地域では感染予防対策を講じながら、様々な工夫をして「ちいさく あつまる」取組みが実施されています。

野芥校区社会福祉協議会(早良区)が実施する子どもの居場所「つくって食べよう土曜昼！」は、令和２年３月から一時活動を休止していましたが、感染予防対策を十分に行った上で、７月25日から再開しました。

現在、①参加定員を減らす、②体調確認した上で参加する、③対面でなく横並びに座る、④食事中以外はマスクを着用する、⑤食事中は“おしゃべり”しない、⑥手洗いはこまめにする、といったルールのもとで、月１回開催しています。

また、校区の食生活改善推進員（ヘルスメイト）が考案したメニューを、以前は子どもたちと一緒に作るスタイルでしたが、ヘルスメイトとボランティアが調理するスタイルに変更しました。食後は参加者同士の距離を保ちながら、大学生のボランティアが学習のサポートをしています。

ボランティアからは「子どもたちが再開を楽しみに待っていてくれた。子どもたちの育ちには“３密”がどんなに大事だったか実感した」「コロナ禍で活動を完全にストップするのではなく、感染予防をしてできる方法を模索して活動を続けていきたい」との声が聞かれました。

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会
〒810-0062　福岡市中央区荒戸3−3−39
福岡市市民福祉プラザ4階
URL　http://www.fukuoka-shakyo.or.jp/
Eメール　sohmu@fukuoka-shakyo.or.jp
☎ 751-1121 FAX 751-1509

地域×企業で取り組む買い物支援



移動販売車の取組み



福岡市社協では、昨年度より福岡市から委託を受け、買い物支援推進員を配置し、支援を必要とする地域団体と協力企業のマッチングを行い、地域特性やニーズに応じた持続可能な買い物支援の仕組みづくりを行っています。

1 美和台校区の買い物支援活動事例



●筑前はかたや

東区美和台校区は東区の北側に位置し、戸建住宅の割合が高く、校区全体が丘陵地の地域です。買い物に困っているという声が多く聞かれていたため、校区自治協議会は移動販売事業者「筑前はかたや」「大輝」に協力を依頼し、校区内で複数の停車場所を決め、令和２年７月から移動販売の取組みを開始しました。利用者からは「近くで買い物ができて便利」「毎週の楽しみ」など好評です。また、停車場所は交流や見守りの場にもなっており、「移動販売に行くと知り合いに会えて楽しい」という感想も聞かれています。

2 城浜校区の買い物支援活動事例

東区城浜校区は市営と県営の団地で構成され、高齢化率は５５％を超えて毎年上昇している地域です。校区内のスーパーまで遠いエリアもあるため、校区自治協議会は移動販売事業者「大輝」に依頼し、7月から移動販売の取組みを開始しています。

利用者からは「スーパーよりも野菜が新鮮」「慣れ親しんだ公民館で買い物ができて安心」といった声が寄せられています。事業者も当たりくじのイベントを行うなど、お買い物 +αの楽しみを提供しています。



●大輝

住民のニーズを把握している地域団体が広報や声かけ等に協力し、地域ぐるみで買い物支援に取り組むことにより、地域住民が安心して移動販売を利用できています。こういった地域の協力により、持続可能な買い物支援の仕組みづくりにつながっています。

買い物支援のパートナーズ（協力企業）を募集しています



買い物支援自動車の車両・運転手等の無償提供、食料品・日用品の移動販売・宅配・買い物代行など、地域に対する買い物支援や買い物サービスへの協力ができる企業を募集しています。登録すると、買い物支援を希望する地域とのマッチング支援や、福岡市や福岡市社会福祉協議会の発行物での広報等を行います。登録の方法など詳細につきましては、福岡市社会福祉協議会地域福祉課にお問い合わせください。

また、地域（校区、町内会など）で買い物支援に取り組みたい等のご相談がございましたら、各区社会福祉協議会へご連絡ください。

【お問合せ】
地域福祉課地域福祉係
TEL：791-6339

災害時のボランティアに関わる多様な主体の連携に向けて



募集中!

福岡市で大規模な災害が発生した場合、社協は、被災者の生活再建のため、災害ボランティアセンターの運営にあたります。災害時には、災害ボランティアセンターを通さない動きも含め、個人の災害ボランティア、NPO・ボランティア団体、企業など、様々な立場の人・団体が支援・活動に関わりますが、思いや活動内容も異なる様々な人たちが、ともに被災者を支えていくためには、お互いを尊重しながら、連携・協働していくことが必要です。

福岡市社協では、災害時だけでなく、日頃から顔の見える関係をつくっていくため、福岡市と協力して団体等とのネットワークづくりを進めています。

災害ボランティア団体等の登録について



福岡市社協では、災害支援や防災啓発に関するボランティア活動や社会貢献活動を行う団体（NPO、ボランティアグループ、大学、企業など）や、今後活動を行う意思のある団体等の登録を受け付けています。

登録団体には、本会や市・関係団体等が開催する会議・研修会・フォーラム・訓練等の案内を行うほか、災害ボランティア等に関する情報提供を適宜行い、福岡市における災害時の円滑な活動の推進や行政・社協・団体等の平常時からのネットワークづくりに取り組みます。

※市内には、自主防災組織など各校区単位で防災に取り組む団体もありますが、この登録は災害支援・防災啓発に取り組むNPO等の団体の把握・連携・協力を目的に登録をお願いするものです。

【お問合せ・登録申込み】
ボランティアセンター
TEL:713-0777

子育てを応援してくださる方 大募集!

福岡ファミリー・サポート・センターでは、子育て家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において「子育てを応援してほしい人（依頼会員）」と「子育てを応援したい人（提供会員）」を繋ぎ、お子様をお預かりする有償の相互援助活動を行っています。

5月～1月の奇数月（年5回）に提供会員養成講習会（3 日間 11 時間）を開催しています。

講座についての詳細は、随時社協ホームページや市政だよりに掲載しますので、是非ご参加ください。

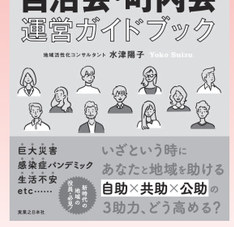
福岡ファミリー・サポート・センターをよろしくね! 皆様の参加を待っています♪



【お問合せ】福岡ファミリー・サポート・センター本部 TEL：736-1116

注目の一冊

こうして地域のリスクに備える!
令和・アフターコロナの自治会・町内会運営ガイドブック
（水津陽子著　実業之日本社）



自治会・町内会の令和時代に求められるあり方や、大規模災害への備えを紹介。

また、アフターコロナ、ウィズコロナでの役割についても掲載。

【お問合せ】福祉図書・情報室 TEL:731-2946

城南第2いきいきセンターふくおか（福岡市地域包括支援センター）の受託が決定しました

担当小学校区
金山・七隈

令和3年4月 1 日から『城南第2いきいきセンターふくおか』を運営する法人に選定されました。福岡市社協として、初めて『いきいきセンター』の運営に携わることになります。

地域団体や事業所等関係団体、行政機関と協働して、高齢者の皆さまが安心して生活できる地域づくりをめざしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

●いきいきセンターふくおかとは…

福岡市が介護保険法に基づき設置した高齢者の総合相談・支援、介護予防ケアマネジメントなどを担う窓口で、市内に57か所あります。健康や福祉、介護などに関する相談を受けたり、その方の身体状態に適したアドバイスを行ったりするなど、高齢者が自立した生活を続けていくことができるよう支援しています。

【お問合せ】相談支援課地域包括準備担当 TEL：751-4338